福島市職員
ひとり１改善・１改革運動
「かえるチャレンジ」

令和6年1･2･3月分
月間賞 受賞一覧

《改善》通信機能付きセンサーカメラを活用した有害鳥獣被害対策への取組み

〈取組内容〉

　イノシシなどの有害鳥獣対策として実施している罠の確認のために毎日現場を確認しているが、罠の一部に通信機能付きセンサーカメラを活用して捕獲状況をパソコンやスマートフォンで確認できるようにした。

〈効果〉

・毎日の罠の確認作業が不要となり、効率化された。
・捕獲の情報をもとに鳥獣被害対策員へすぐに共有する体制を構築してすぐに現場に向かえるようになったため、事故のリスクが軽減された。

2

《改善》指定給水装置工事事業者へのオンライン講習会開催

〈取組内容〉

・事業者に対して毎年実施している講習会の実施方法を対面や対面とオンラインの２本立てで行っていたものをYouTube配信のみに切り替えた。
・内容についてのアンケートをとり、その回答をもって受講完了とした。

〈効果〉

・事務局と参加者双方の負担が軽減された。
・参加者は都合の良い時間に受講でき、後で簡単に見返すことができる。
・閲覧人数の制限がないため、より多くの方が説明を聞くことができるようになり、伝え漏れがなくなった。

3

《改善》「クリーンガイドブック」巻末広告欄導入による自主財源（広告料）の確保

〈取組内容〉

ごみの分別や出し方のルールに関してスマホアプリ「さんあ～る」で確認できるが、高齢者等を中心に冊子のニーズが高く、最低限の印刷部数が求められる。冊子に広告を募集し、その広告料収入により作成費を削減（充当）した。

〈効果〉

これまで一般財源で作成していたが、広告料収入を得ることができた。

作成費－広告料収入（経費節減額）＝　差引（作成実費）

⇒ 1,446,390円－915,000円＝531,390円

4

《改善》市税領収証書(手書き納付書)様式のExcel化

〈取組内容〉

　窓口で市税等を納めた際の領収証書の発行にあたり、手書きで作成していたものをVBAや関数を組み合わせたExcelデータを作成した。最小限の操作で入力が完了し、印字・印刷から発行記録までを自動化して、納付者には印字内容の確認をしてもらう仕組みとした。

〈効果〉

・納付者の手書き作成とその作成に伴う説明時間が不要となった。
・記入誤りや納付額の計算誤りがなくなった。
・市税領収証書の印刷製本費が不要となった。

5

《改善》新年市民交歓会申込のオンライン化及び自動名簿作成システムの構築

〈取組内容〉

　これまでは窓口でのみ申し込みを受け付けて会費を現金でお預かりしていたが、オンライン申請・口座振り込みに切り替え、来庁せずに申し込みができるようにした。あわせて出席者の管理をAccessへ移行した。

〈効果〉

・申込者の窓口来所にかかる時間の削減
・窓口受付時間の削減
・会費を管理口座へ日ごとに入金作業の削減
・Excelデータへ手入力の削減　　など

6

《改善》個別計画策定作業効率化パッケージ
～高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定作業の効率化～

〈取組内容〉

・3年に1回の策定にあたり、構成や内容を大幅に見直し、ページ数を削減、策定作業を簡略化、かつ見やすく分かりやすい作りにした。
・ChatGPTを活用し、記載内容のたたき案を作成し内容を吟味した。
・対面での打ち合わせを廃止し、ガルーンのスペースを活用した。
・印刷部数を最小限とした。

〈効果〉

・取りまとめ担当係の時間外勤務時間数削減　（前回比▲42%）
・ペーパーレス化による紙の使用量削減　　（前回比▲90%）

7 《改善》入札参加資格申請の電子受付

〈取組内容〉

　登録を希望する業者より郵送で受け付け、紙保管、職員が手入力していたものを以下のように改善して効率化を図った。

・申請受付をオンラインにより受け付ける。
・各登録情報はエクセル、証明書等はPDFによりパソコン上で審査する。
・エクセルより抽出した業者情報をRPA（sikulix)で財務端末へ自動入力する。

〈効果〉

・電子申請により受付･返信作業が削減。併せて再提出等の即時確認が可能
・紙での保存が不要となり、Excelにより業者売上高の突合作業を削減
・自動入力による職員作業時間の削減　など